

○サービス見込量については、見える化システムにより計算された自然体推計に基づく見込量に、見込みを定める際に勘案する事項や、高齢者人口の動向、介護サービスの給付実績の分析結果、各種実態調査で把握された課題やニーズ等を反映し、市町村が積算する。県は、ヒアリング等で各市町村におけるサービス見込量の考え方を確認し、市町村が算出した数値を積み上げる。

※伸び率：令和8年度÷令和5年度

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	伸び率※	
居宅サービス	訪問介護	回数(回)	4,356,539	4,506,658	4,683,617	4,858,254	111.5%
	訪問入浴介護	回数(回)	31,993	33,155	34,880	35,906	112.2%
	訪問看護	回数(回)	714,266	739,656	764,380	787,554	110.3%
	訪問リハビリテーション	回数(回)	278,978	289,627	300,872	310,417	111.3%
	居宅療養管理指導	人数(人)	124,692	128,868	132,984	137,076	109.9%
	通所介護	回数(回)	1,666,300	1,722,851	1,775,251	1,831,009	109.9%
	通所リハビリテーション	回数(回)	501,264	518,552	535,613	554,992	110.7%
	短期入所生活介護	日数(日)	451,346	471,298	486,160	500,724	110.9%
	短期入所療養介護(老健)	日数(日)	68,251	72,275	74,591	77,855	114.1%
	短期入所療養介護(介護医療院)	日数(日)	676	888	811	828	122.6%
	福祉用具貸与	人数(人)	277,128	285,144	292,764	300,876	108.6%
	特定福祉用具購入費	人数(人)	4,788	5,076	5,256	5,472	114.3%
	住宅改修費	人数(人)	4,212	4,584	4,752	4,908	116.5%
	特定施設入居者生活介護	人数(人)	29,892	30,528	31,776	32,544	108.9%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数(人)	13,164	13,464	13,824	14,376	109.2%
	地域密着型通所介護	回数(回)	411,730	427,897	441,145	453,653	110.2%
	認知症対応型通所介護	回数(回)	46,661	51,671	53,446	56,129	120.3%
	小規模多機能型居宅介護	人数(人)	10,824	11,472	11,832	12,288	113.5%
	認知症対応型共同生活介護	人数(人)	2,087	2,177	2,244	2,285	109.5%
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (現在県内1施設、定員29名)	人数(人)	31	29	29	29	93.5%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人数(人)	210	214	215	215	102.4%
	看護小規模多機能型居宅介護	人数(人)	2,232	2,508	3,300	3,444	154.3%

○今後、高齢化がより一層進むことから、サービス見込量は全体的に伸びる。特に伸び率が大きいサービスは、下記の理由によるもの。

■短期入所療養介護(老健・介護医療院)

…医療ニーズを有した高齢者の増加が見込まれるため

■特定福祉用具購入費、住宅改修費

…自宅で過ごす単身高齢者、夫婦のみの世帯の増加が見込まれるため

■認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

…市町村で6～8年度に整備予定があるため

第9期計画期間における介護施設の整備計画数の考え方

- ・県全体の介護施設の需要が令和22(2040)年度まで増加するため、令和8年度時点の需要ではなく、令和22(2040)年度(ピーク時)の需要を賅う整備必要数を、令和21(2039)年度までの16年間で計画的に整備し、施設整備に係る県の補助額を平準化する。
⇒【基本的な考え方】第9期計画期間中の整備必要数=令和22(2040)年度のピーク時の需要÷16年×3年間
- ・市町村からの聞き取りによる整備ニーズも勘案して、整備必要数を着実に整備する整備計画数とする。
- ・稼働率が大きく低下しないかを検証したうえで、調整し、反映。

- 介護老人福祉施設(特養)：150床
- 介護老人保健施設：40床
- 介護医療院：50床
- 特定施設入居者生活介護：160床